

イーグル工業株式会社

2026年3月期 | 第2四半期決算説明会

2025年11月10日

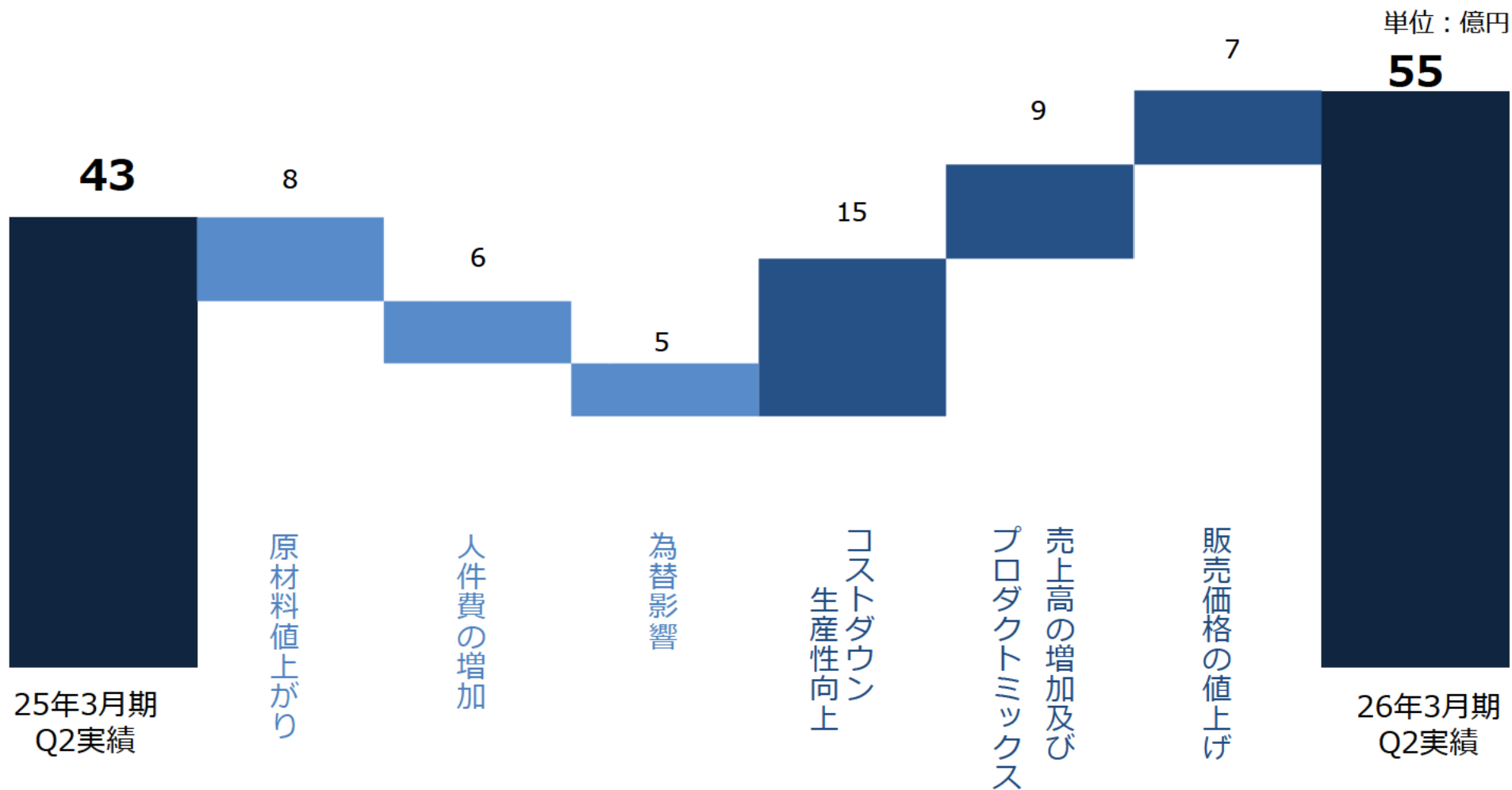
1. 26年3月期第2四半期決算概要と通期業績予想
2. 各セグメントの状況・今後の事業展開

単位：億円

	25年3月期 第2四半期実績	26年3月期 第2四半期実績	前年同期対比	
売上高	830	855	26	103%
営業利益	43	55	13	130%
経常利益	58	72	15	126%
親会社純利益	27	48	20	175%

（平均実勢為替レート）

1ドル	152.8円	146.0円
1ユーロ	166.1円	168.1円



単位：億円

		25年3月期 Q2累計実績	26年3月期 Q2累計実績	増減	前年同期 対比
自動車・建設機械	売上高	444	459	16	104%
	営業利益	7	15	8	224%
一般産業機械	売上高	202	186	▲16	92%
	営業利益	27	22	▲5	81%
半導体	売上高	59	74	15	125%
	営業利益	▲21	▲10	11	—
船用	売上高	85	95	9	111%
	営業利益	26	26	0	101%
航空宇宙	売上高	40	42	2	104%
	営業利益	4	2	▲2	50%
合 計	売上高	830	855	26	103%
	営業利益	43	55	13	130%

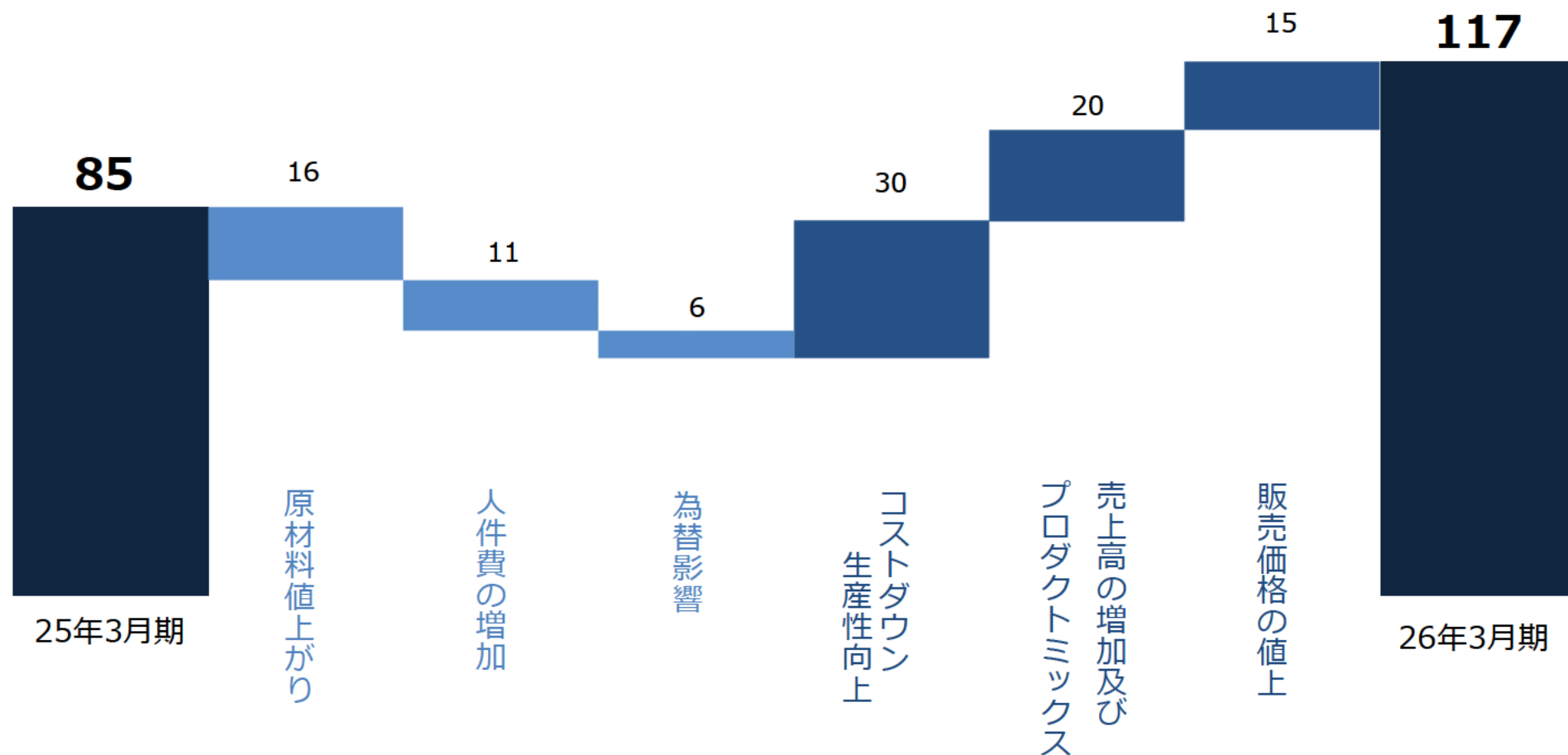
単位：億円

	25年3月期 実績	26年3月期 業績予想	前期対比	
売上高	1,682	1,750	68	104%
営業利益	85	117	32	138%
経常利益	120	153	33	127%
親会社純利益	49	98	49	201%

（平均実勢為替レート）

1ドル	152.6円	150.0円
1ユーロ	163.9円	173.0円

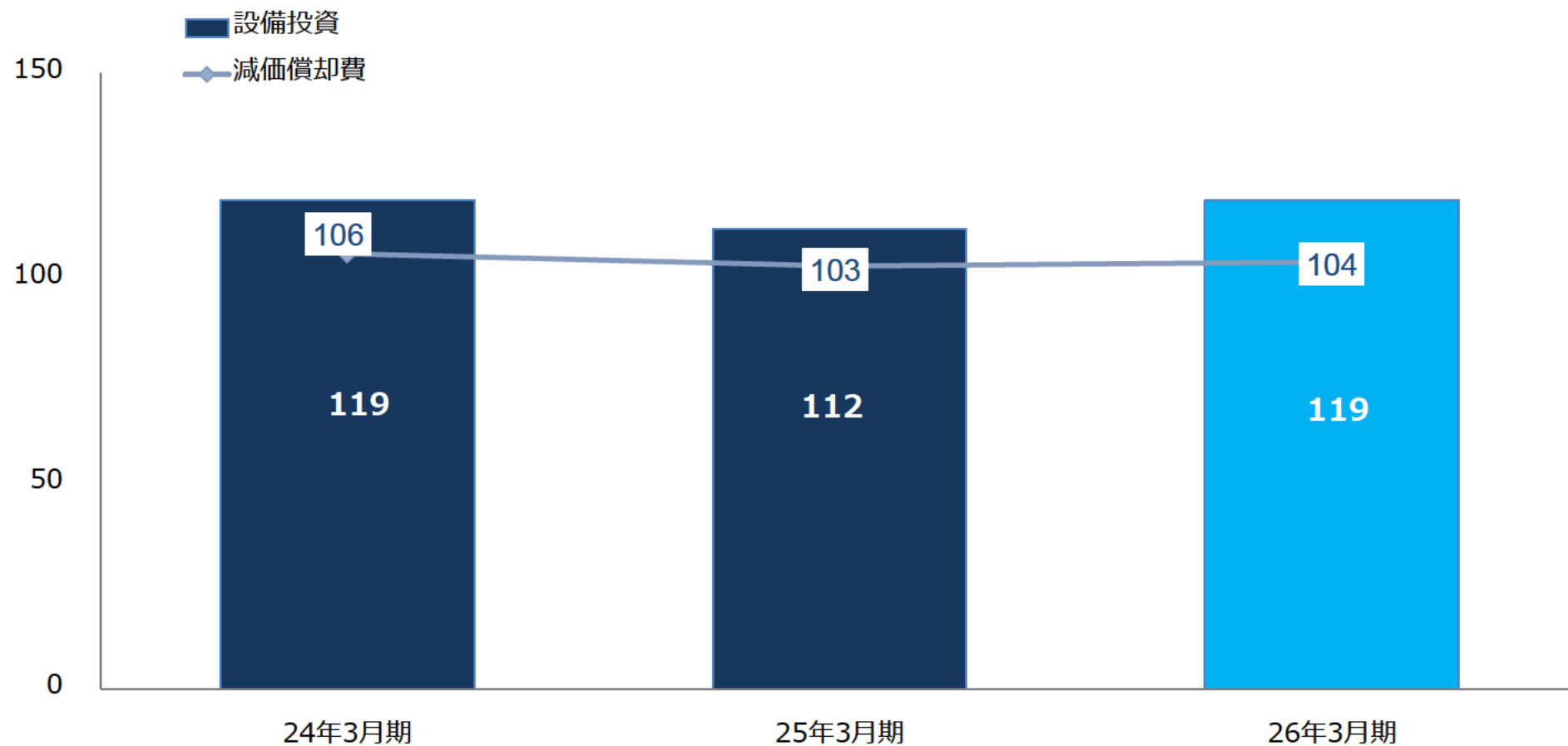
単位：億円



単位：億円

		25年3月期 実績	26年3月期 業績予想	増減	前年同期 対比
自動車・建設機械	売上高	876	901	25	103%
	営業利益	6	22	16	393%
一般産業機械	売上高	408	412	4	101%
	営業利益	54	53	▲ 1	98%
半導体	売上高	126	153	27	122%
	営業利益	▲ 38	▲ 19	19	—
船用	売上高	180	192	12	106%
	営業利益	53	54	1	102%
航空宇宙	売上高	91	92	1	101%
	営業利益	10	7	▲ 3	68%
合 計	売上高	1,682	1,750	68	104%
	営業利益	85	117	32	138%

単位：億円

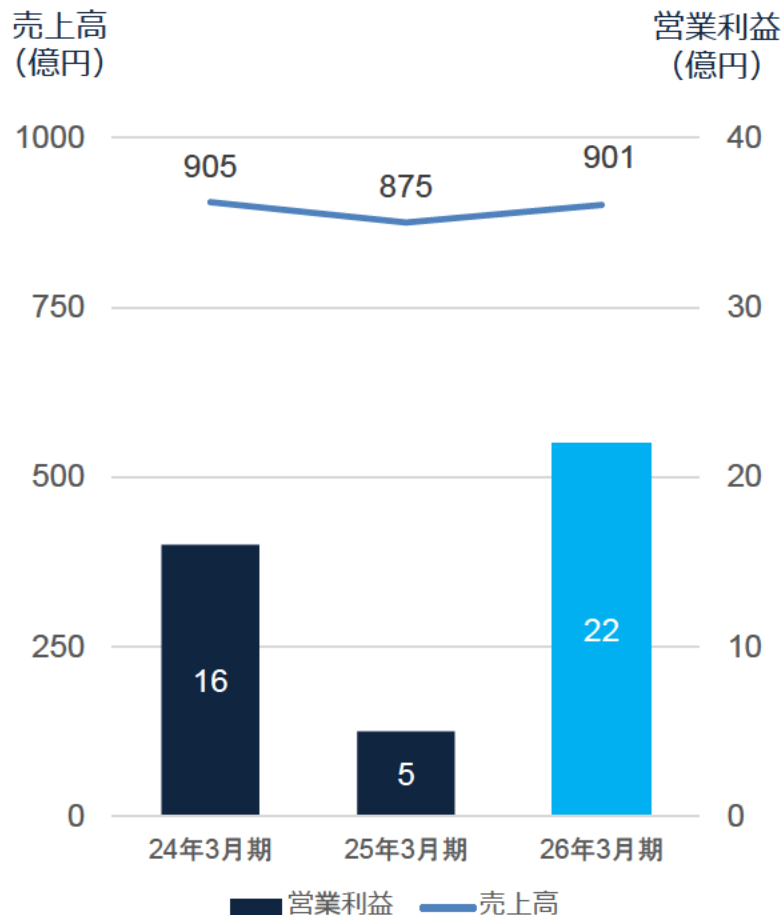


		24年3月期	25年3月期	26年3月期（予）
一株当たり純資産	円	2,570.06	2,517.54	2,705.36
一株当たり純利益	円	160.84	107.51	216.13
一株当たり配当額	円	80	100	120
配当性向	%	49.7	93.0	55.5
DOE	%	3.4	3.9	4.6
ROIC	%	3.6	3.7	5.0
ROE	%	6.8	4.2	8.3

- ・ 収益改善によりROEは今期 8 %超の見通し
- ・ 来期以降ROIC 6 %、ROE 9 %以上の達成を目指す

1. 26年3月期第2四半期決算概要と通期業績予想
2. 各セグメントの状況・今後の事業展開

売上高・利益推移見通し



26年3月期 現況・見通し

EV車のグローバル生産台数は引き続き伸長
サスペンション用ソレノイドバルブの販売が好調

自動車の動力源に依存しない品目の開発と拡販

セミアクティブサスペンション用バルブ

→車両重量が増加するEV向け製品として採用拡大

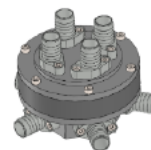
EV向け新製品の開発と拡販

e-Axle用製品：テクスチャメカシール (GlideX)

熱マネ用製品： LLC切替弁、カーボン軸受



カーボン軸受

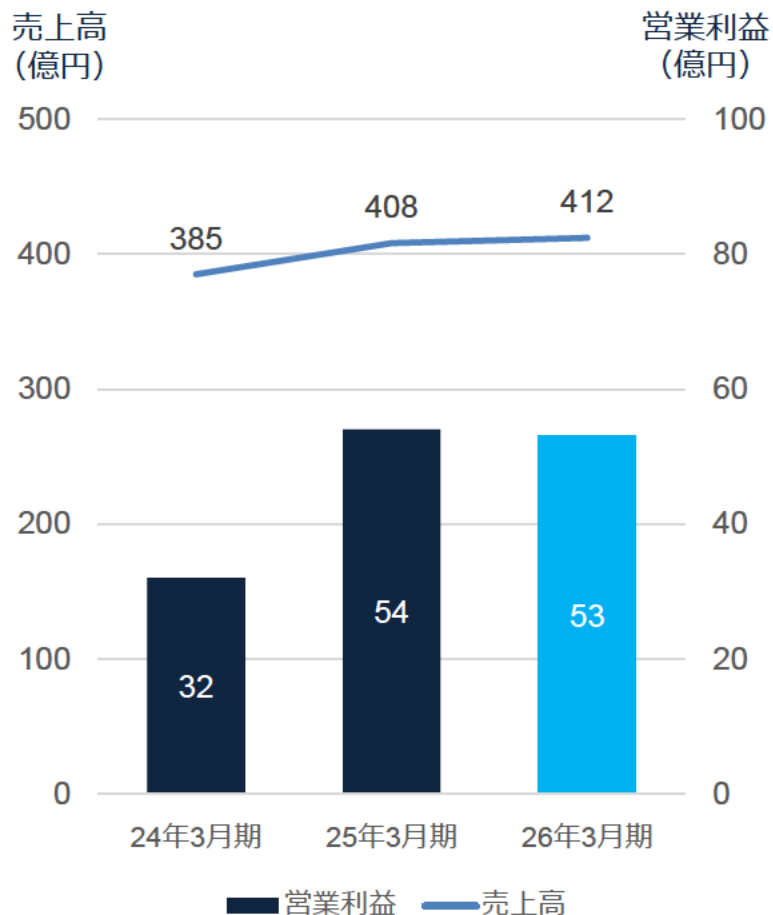


LLC切替弁



GlideX

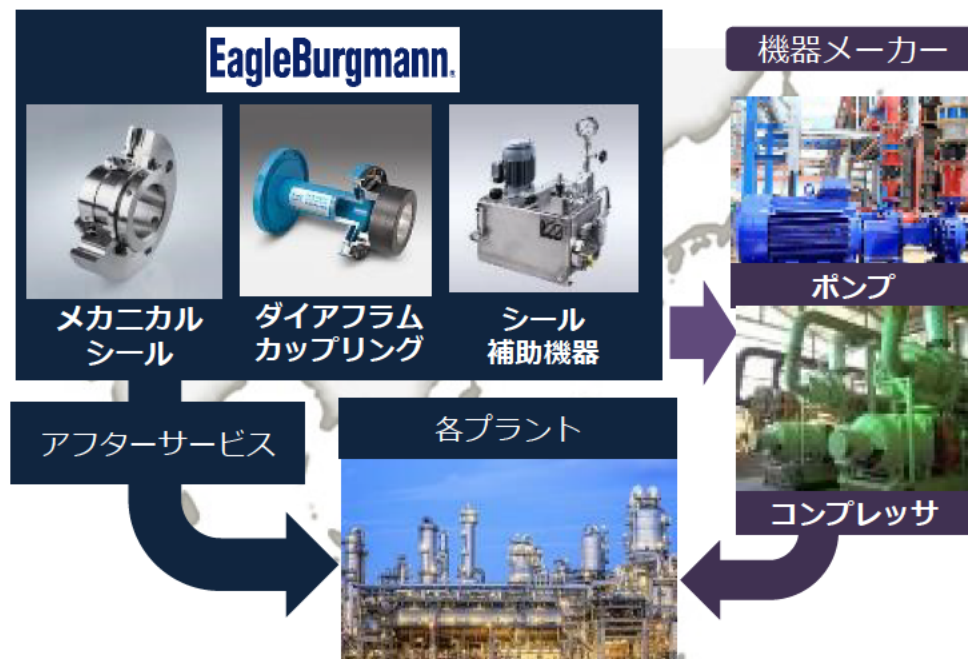
売上高・利益推移見通し



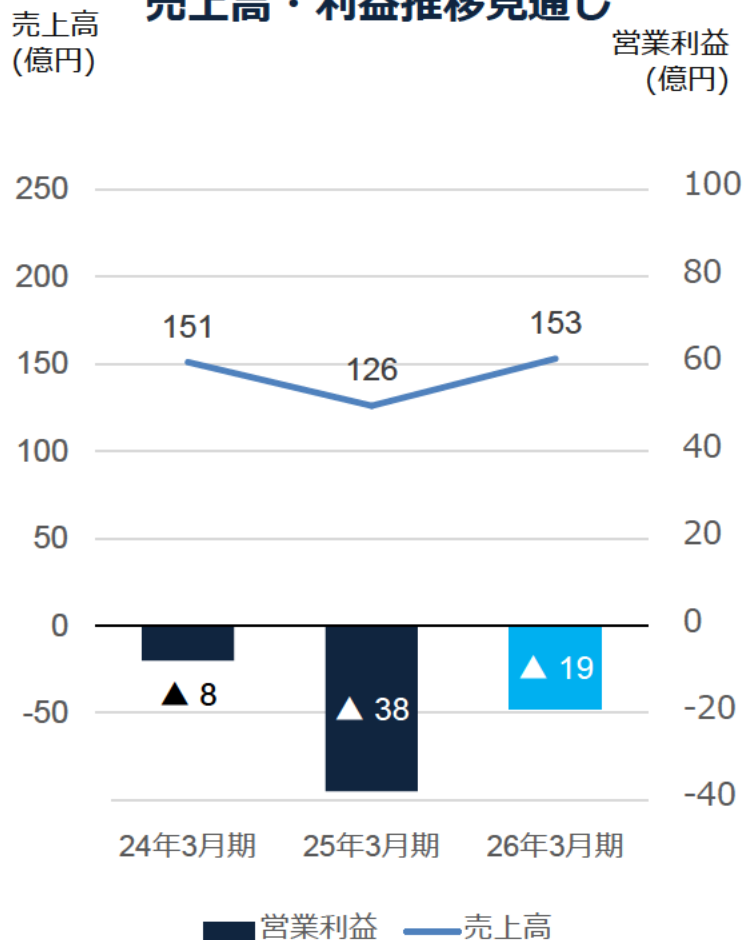
26年3月期 現況・見通し

東南アジア地域のプラント稼働率低下に伴う
アフターサービス需要減により前期比で若干の減益見通し

一般産業機械業界向け事業のビジネスモデル



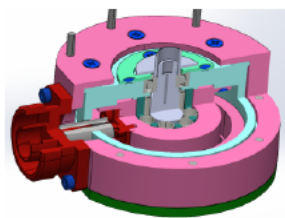
売上高・利益推移見通し



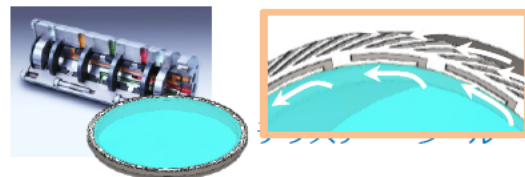
26年3月期 現況・見通し

- ・半導体業界の回復に伴い、当社製品の需要も回復
- ・当初計画の営業損失幅(▲15億円)までは届かないものの前期から営業損失は縮小
- ・販売拡大にあわせ、新製品開発提案を継続
来期の黒字回復を図る

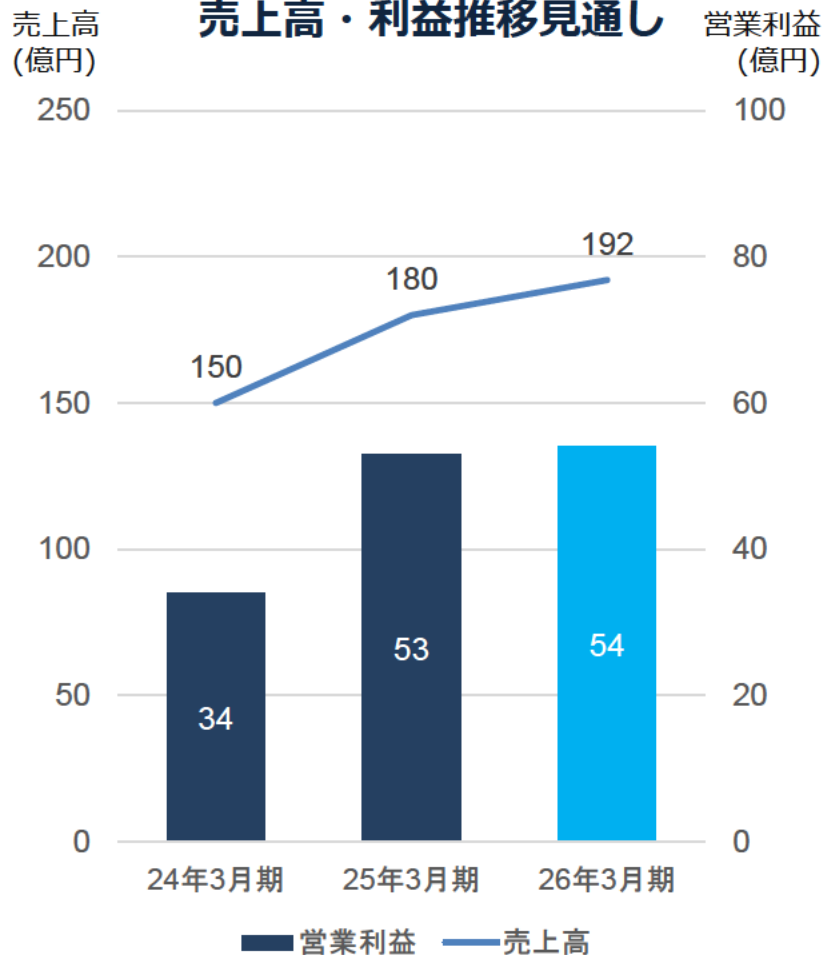
半導体業界向け事業の新製品

スリップリング
(高周波電源向け)

- ・高周波電源伝送
- ・長寿命
- ・低接触抵抗

テクスチャーシール仕様
ロータリージョイント
(次世代成膜装置向け)

- ・省電力化
- ・小型・簡素化
- ・信頼性の向上



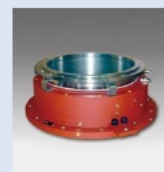
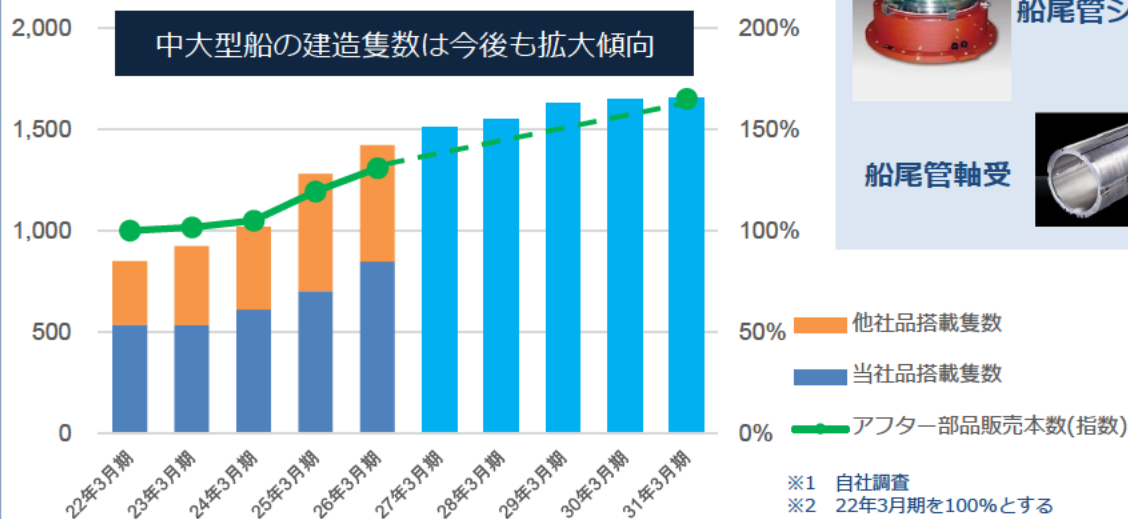
26年3月期 現況・見通し

新造船向け・アフターサービスともに堅調に推移しており、増収増益が継続

中大型船（1万トン以上）の船尾管シールトップシェアを活かし、さらなるビジネス拡大を図る

新造船建造隻数（※1）

アフター部品販売数（※2）

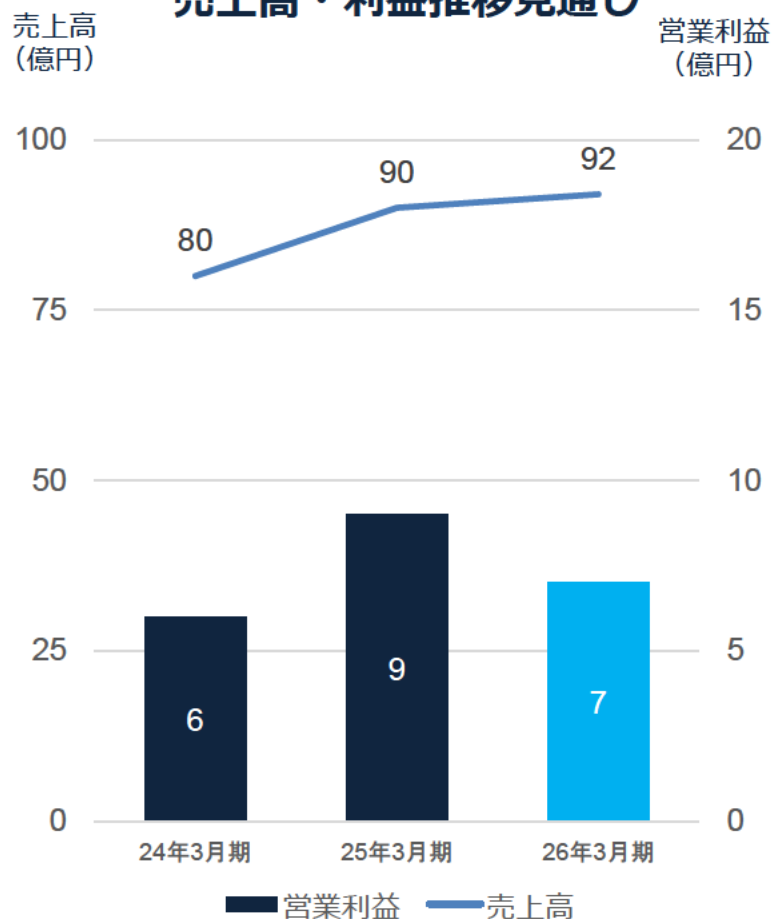


船尾管シール



船尾管軸受

売上高・利益推移見通し



26年3月期 現況・見通し

防衛関連を含む航空機向け・宇宙産業向けともに堅調に推移
来期以降に100億円以上のビジネスに成長見通し

航空機向け製品

民間航空機

- 欧州の次世代エンジン開発に参画
- 海外エンジンメーカーからの量産引合増加

次期戦闘機イメージ
出典：防衛省ホームページ

防衛関連

- 防衛関連製品の生産拡大
- 防衛生産基盤強化法活用による生産性向上取組
- 次期戦闘機エンジンへの採用に向けて活動中

宇宙産業向け製品

国内宇宙プロジェクトへの参画

25年6月29日
H-IIA 50号機25年10月26日
H3 7号機

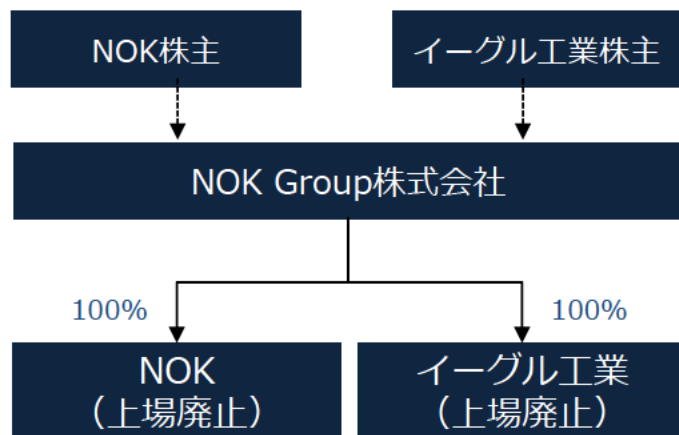
メカニカルシール、各種シール類

本日、NOK株式会社及びイーグル工業株式会社の取締役会において、株式移転完全子会社、新設する共同持株会社のNOK Group株式会社を株式移転完全親会社とする共同株式移転による経営統合契約締結を承認

株式移転比率

NOK：イーグル工業 = 1：1

経営統合後の資本関係



経営統合スケジュール

2025年11月10日（本日）	経営統合契約書締結及び株式移転計画承認 取締役会決議（両社）
2026年6月下旬（予定）	株式移転計画承認定時株主総会開催（両社）
2026年9月28日（予定）	東京証券取引所最終売買日（両社）
2026年9月29日（予定）	東京証券取引所上場廃止日（両社）
2026年10月1日（予定）	経営統合効力発生日 （NOK Group株式会社の新規上場日） ※東京証券取引所プライム市場

グループ経営資源の最適化によるさらなる事業成長

- ・両社の強みである素材技術を幅広く有することでの将来的な製品ラインアップの拡充
- ・両社それぞれの顧客基盤に対してさらなる拡販が期待

効率的事業運営による収益力の強化

- ・営業：物流・営業拠点の効率的な運用
- ・生産：グローバル拠点の有効活用、生産財の内製拡大、規模の拡大に伴う購買力の向上

より効果的な経営資源の配分

- ・持株会社への間接部門を集約・統合によるグループ経営資源の最適配分と効率化
- ・グループ全体を俯瞰した投資戦略を立案・実行（M&Aを含めた事業投資、C/F配分の戦略的推進）

両社の経営資源の効率的・効果的な相互利用を通じNOKグループ一体で将来への成長につなげる



Fly Sky High !